

＜各区訓練例＞

① 区や支区での安否確認方法や、避難場所などの確認

⇒隣組での避難場所や安否確認、区の避難場所までの経路の確認、支区ごとの安否確認などを行う。

② 支え合い台帳による避難行動要支援者の避難方法の確認

⇒個人情報に注意：区内の避難行動要支援者（高齢者などで一人で避難できない方たち）の確認、避難方法など）

③ ハザードマップで土砂災害警戒区域や浸水想定区域の確認

⇒自分たちの区にどんな被害が想定されているかを確認する。

④ 区内危険箇所などの検討

⇒（区内で過去にあった被害か所など確認し、避難経路などに反映させる）

⑤ 広域避難所までの避難方法、避難経路の確認

⇒田中・滋野・祢津・和の4小学校及び東部中・北御牧中学校が最初に開設する避難所になることから、直近の広域避難所の確認、避難経路の確認、車両の確認など

⑥ 消火栓取扱い訓練

⇒消防団を中心に消火栓を使用した消火訓練など

※ 令和8年度は、AED 取扱い訓練及び消火訓練（水消火器の使用）を主会場で行うため、東御消防署から当日の区への貸し出しはできませんので、ご了承ください。